



朝日学園・みつ朝日学園連合PTA広報誌

Trinity

トリニティー

Vol.6
2015



紅華祭体育の部 寮生による「よさこいソーラン」

CONTENTS

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1— 連合PTA | 19— 同窓会 |
| 2— 学園長一問一答 | 21— 表彰 |
| 3— 学園内交流 | 23— インタビューで知る朝日学園 |
| 5— お弁当で見る朝日学園 | 25— 行事一覧 |
| 7— 幼稚園 | 27— 数字で見る朝日学園 |
| 11— 小学校 | 29— 朝日学園教職員一覧 |
| 15— 中等教育学校 | |

<http://www.asahijuku.ac.jp>



朝日学園

朝日学園・みつ朝日学園連合PTA

はじめに

朝日学園の三校園は離れた地にあるため、三つのPTAが顔を揃える機会は努力しなければ実現しません。その努力の一步が2008年に踏み出されました。各校園長と各PTA会長が初めて一堂に会し、朝日学園の未来について語り合いました。そして、我が子の母校となる学園の末永い発展のために、お互いを理解しあい力を合わせようという気持ちで一つになり、それが朝日学園連合PTAの発足へとつながっていきました。

お互いを知る架け橋として創刊された「Trinity」は、本号で6号となります。誌面には二歳児から高等部三年生までの輝く表情があふれています。そのことこそが、朝日学園の誇り。『朝日をあびて輝く笑顔』を支えるために、皆様のご理解とご協力をいただきながら、連合PTAの活動がさらに充実していくことを願ってやみません。本号で多くの笑顔に出会っていただければ幸いです。

2015年3月

朝日学園・みつ朝日学園連合PTA会長



田中 享子

～幼稚園・小学校・中等教育学校 3つのPTAが連携を図って～

■幼・小・中等が相互理解を深める ■一貫教育であることの特性が活かされる活動を行う

総会

H26年5月23日に岡山ロイヤルホテルにて開催されました。総会後の懇親会では幼・小・中等の役員同士が親睦を深めました。



鳥海学園長『第一回日本民間教育大賞』受賞!!

お祝いにミッキー先生にちなんだバルーンを贈呈しました。



今後も個性を伸ばすハイレベルな教育を推進していく所存です。



教育講演会 各校園の講演会へ朝日学園保護者が参加できるように後援しています。



～小学校～

■講師
女優 紺野美沙子氏
■とき
H26年10月31日
■演題
『今、私にできること～女優業のこと、家庭のこと、そして親善大使のこと』



～中等～

■講師
医学博士 藤井輝明氏
■とき
H26年7月17日
■演題
『今を生きる』



中等教育学校見学会



授業参観



職員室見学



寮見学



寮の食事体験

平成26年10月3日、朝日学園全保護者を対象に見学会が開催されました。例年とは違った内容での企画です。

開会までの時間に学校生活の映像を鑑賞。そして開会では、生徒会役員による学校紹介がありました。「学年を越えた良いつながりがある」という学校の良さを力強く、そして愛情をもって話してくれました。その後、校内見学。物理の先生からは、音叉、手作りの振り子、100円の調理器具等を使った実験を見せていただきました。授業見学の後は、寮の食事体験。食後は紅華祭で高2Bが制作した「ばかっこいい」を鑑賞。青春を感じさせる映像と超絶技巧の数々に見学者から拍手が起きていました。寮の見学ではきちんと整理された個室に、住み心地の良さを感じました。寮を出てからは、教室での昼食風景を見学。閉会后、駐車場に向かっていくと、芝生の上では男子生徒が学年を越えて集まり、サッカーに興じていました。その笑顔のさわやかなこと。温かい気持ちになれた見学会でした。

鳥海学園長に 一問一答

好きな音楽のジャンル…音楽は全然ダメです。運転中にCDで演歌や世界の愛唱歌を聴く程度。カラオケは一生懸命逃げます。音楽のほか、芸術系には才能が全くありません。

好きな本、作家…現状ではフリーな時間には頭を休めたいと思うので、西村京太郎のトラベルミステリーを読んで気分転換をしています。

好きな季節…昔は夏でした。今は体力が落ちたせいかな春が良くなりました。

好きな食べ物、苦手な食べ物…物のない時代の子どもの時代から、殆ど好き嫌いはありません。イグアナなどのゲテモノでも食べられます。

尊敬する人…昔は父でしたが、今は平瀬田中先生でしょうか。

初恋の思い出…バレエ部の女の子。カルピスの味でした。同窓会で会って、あまりのお婆さんぶりにガックリしました。それだけこちらもお爺さんになったのですね。

人生最大の挫折…苦労は数え切れないほどしましたが、挫折はちよつと思ひ当りません。感覚が鈍いのかもかもしれません。

何かゲン担ぎはありますか?(受験生のため)…個人的には通常ゲン担ぎはしません。子ども達の受験のために必要なら何でもしますよ。

子どもを見るときどこに注意していますか?…元氣さ、健康状態、健全な身体、健全な精神が、まず最初に必要じゃないでしょうか。

自分の魅力…精神的にも肉体的にもタフなことかと思っていました。最近は大いぶ衰えてきました。

休日は何をしていますか?…まるまる休みと言う日はあまりありません。休めるときには旅行、日帰り温泉ぐらいでしょうか。ごろ寝やテレビの番は苦手で、つい動き出してしまいます。

無人島にひとつだけ持って行くとしたら何を持っていきますか?…サバイバルナイフ。住む場所を作る、動物・魚などを捕える道具作りなど、生き抜いていくための環境作りのために。

最近のマイブームはありますか?…作家・池井戸潤の金融もの小説にはまっています。現実の銀行との交渉にも役立つような気がします。

子どものころ得意だった教科は?また苦手な教科は?…国語・社会が好きでした。文系なんですね。昔、勤務したのは理数教科の教科書会社でしたが、苦手は芸術系。才能がありません。

自分を動物に例えると?…ミッキーマウス。名前が「みつじ」のミッキー先生です。

自分を電車で例えると?…リニア新幹線。周りの景色も見ず、ただひたすら走る点で。

20年前の自分に何か一言声をかけるとすると?…「お前、よく頑張って小学校を創ったなあ。でもこれからの内容充実が大変だよ」
では、20年後の自分に何か一言…103歳です。「元気で、幼稚園の2歳児、3歳児とゆつくり話し合っていたらいいな。」

朝日学園を作っていないければ、何をされていたでしょう?…何か起業していたでしょうね。金儲けは非常に下手なせいで。

地球最後の日!最後の晩餐は誰と何を食べたいですか?…今日が最後の日だと知らない子ども達と、園児用の給食を楽しく食べていたいですね。

幼稚園へ



家庭科の授業で園児と触れ合う中2生



小3生より年長さんへ「うんどうかいがんばってね」のメッセージ



「朝日塾小学校の先生と遊ぼう」



完成したら
的当てに挑戦!

小学校の先生と一緒に
フリスビー作り

幼・小・中等 ともに学び、ともに歩む。

離れた地にある三校園ですが、互いに訪れあって、親交を深めあい、学びあっています。



紙でっぼう
作り

年長さんと3年生



けん玉作り

一年かけて様々な
交流を深めました



ジャンケン列車
もり上がったよ



中等の理科の先生による科学実験(6年)

小学校へ

中等へ



4年生が中等を訪問。中2生と交流しました



しっぽとり
ゲーム



5年生と中3生。
外でのゲームを楽しみました



高1生にアドバイスをもらいながら
「一刀切り」に挑戦する6年生



カレーをごちそうになりました!

～高校生になった教え子たちへ～
塾小佐久間賢志先生の授業
高等部2年のLHRにて



「自分をみつめることができた」
「将来のことがわかった気がする」と生徒たち

卒業生(中等教育学校) 母校へ

進路講演会



実体験に基づいた講演に在校生も興味津々。
様々な質問が飛び交っていました。

平成25年度講師

- 山田 俊介(3期生) 埼玉医科大学医学部医学科
- 早野 康太(4期生) 東京大学理科二類
- 鈴木 悠貴(4期生) 東京学芸大学教育学部
- 前原 理光(4期生) 高知大学理学部

平成26年度講師

- 仙田 敬大(4期生) 香川大学医学部医学科
- 指宿 佑華(5期生) 鳥取大学医学部保健学科
- 牧野 一意(5期生) 香川大学教育学部
- 元廣 壮汰(5期生) 成城大学文学部英文学科

教育実習

～1期生(2人)・2期生(1人)が教壇に立つ～ (同窓会会報より文抜粋)

金宗 大貴(1期生) 東京学芸大学教育学部



教育実習生という立場から朝日塾中等教育学校を見ていて、生徒達はどの学年でも非常に素直です。素直であれば人はどんどん成長できると私は思っています。その気持ちを持ち続けて朝日塾におられる素晴らしい先生方のもと頑張りたいと感じました。

井上 理恵(1期生)
日本大学理工学部



私は実習生として生徒達に勉強を教える立場ではありませんでしたが、実際生徒達に触れ合うことによって、私自身が生徒から様々なことを教わりました。また先生方からは、日々たくさんの指導をいただき、自分でも成長を感じることのできる毎日でした。

母校へ

幼

栄養たっぷり!!!

大好き♡お弁当



彩り鮮やか!!!

小

ほかほか♡給食

安心・安全・そして温か!!



保護者の思いと給食業者さんの熱意がこもっています。

調理場を校内に持たない朝日学園は、業者からのお弁当の宅配というシステムを開校以来とっている。宅配のためご飯もかきずも冷たいものになってしまうが、それはやむを得ないことと半ばあきらめていた。

広範囲な地域から通学してくる子ども達にとって、昼食は心にも身体にも重要な位置を占める。だからこそ温かいご飯と汁物を食べさせてやりたいという保護者の要望は常にあった。その要望を受けて学校とPTAが力を合わせて「給食検討委員会」を作り、話し合いを重ね、H21年に念願の温かいご飯と汁物が給食で提供できるようになった。この時、給食業者の方は本校用にご飯の保温器やスープジャーとそれらを搬入するためのトラックまでも準備してくださいました。同時に安全安心なものを子ども達に食べさせたいという要望にも応えて、冷凍食品を使用せず安全な食材を使用することを遵守した献立を実現してくださいました。



こういった流れの中で、給食への取り組みは「給食レシピコンテスト」の開催ですらに熱いものとなっていった。このコンテストの入賞作品は実際の給食となって、子ども達を喜ばせている。

ただこれまでの経緯を知らない保護者にとっては、現在の給食には物足りなさを感じている現状もある。安全な食品にこだわるよりも、子どもの喜ぶ味付けのものやボリュームのあるものを求める思いがあるのも確かだ。それは長時間の学校生活の中で空腹にならないようにとの願いからだ。

日々変化する社会の中で、何が最善なのかを考えながら「給食」のあり方も常に検討していく必要があるだろう。そして常に検討する姿勢を持つことができるのが朝日学園の保護者力だともいえる。注:小学校と中等教育学校は同じ給食です。

給食検討委員会 田中享子

お弁当は親と子の目に見えない会話

お弁当を作りながら、親は子どものことを考える。健康であることを願い、その日の天候や体調にあわせてメニューも決めていく。そしてお弁当を食べる時の様子を想像しながら、楽しい学園生活であることも願う。「お弁当」を語りかけたい親のようだ。

ボリューム満点!!!



中等